北広協ニュース

発行／一般社団法人
北海道広告業協会
〒060-8545 札幌市中央区大通西5丁目11-1
電通恒産ビル5階　☎(011)221-2634

㈠社北海道広告業協会は、広告業の健全な発達と広告活動の改善向上を図りもって北海道経済の発展と道民生活の向上に寄与することを目的とする。

平成28年度PR広告決定!!

昨年のテーマ『負けてたまるか北海道』に続いて、今年のテーマは『ここが強みだ、北海道』に決定し、広告によって北海道をより元気にする作品を募集いたしました。応募総数は、11社38作品に達し4月8日の広報情報委員会にて10作品に絞り込んだうえ4月の理事会にて最終審査を行い最優秀賞1点、優秀賞1点、佳作2点が選ばれました。

最優秀作と優秀作については、各媒体様のご協力を得て掲載（放送）が開始されています。尚、表彰式は、6月9日の若手交歓会の席上で表彰状と賞金が井上会長より手渡されました。

※来年の実施も予定いたしておりますので、たくさんの応募をお待ちいたしております。

―平成28年度北海道広告業協会PR広告入選作品―

優秀賞
『北海道なら、うまく育（いく）』

株式会社 電通北海道
クリエイティブディレクター　松浦　秀樹
コピーライター　田中　裕子

最優秀賞
『日本は小さい。北海道は大きい。』

株式会社 ピーアールセンター
アートディレクター　花田　剛

佳作
『マイナスこそ、北海道のエネルギー。』

株式会社 電通北海道
クリエイティブディレクター　松浦　秀樹
コピーライター　益子　美紀

佳作
『「価値組」です！北海道。』

株式会社 ノヴェロ
クリエイティブディレクター　竹内　里佳

若いパワーと情熱も北海道の大きな強み…！

広報情報委員会
委員長
石神　博伸

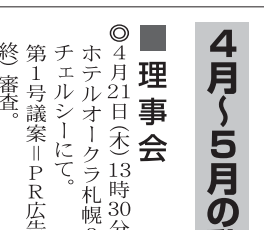
今年の協会PR広告は広大な土地、美しい景観、冷涼な気候を背景に広告人からみた北海道の強みを様々な手法で表現していただいた。いずれの作品も審査過程では優劣つけがたい力作揃いで、新たな視点で見れば北海道にはまだまだ我々の気づかない魅力と強みが一杯あるのだと改めて気づかされた今年のPR作品コンテストであった。

昨年に続いて開催された広告業・若手交歓会を会場にしたPR作品の表彰式も大いに盛り上がり北海道の広告業界の次代を担う若者のパワーと情熱も「北海道の大きな強みだ」と感じさせられる有意義な時間を過ごさせていただいた。

今年も作品応募にご協力いただいた会員各社の皆様、そして協会PR広告に毎年ご協力下さいます媒体各社には心からお礼申し上げます。

第36回北海道広告業協会杯争奪野球大会が開催されます

6月2日に開かれた主将会議にて対戦トーナメントが、決定いたしました。試合は、道新大曲球場にて7月23日(土)・24日(日)の二日間で繰り広げられます。今年は、インサイトチームも参戦し9チームでの熱戦となり、果たして北日本広告社の9連覇を阻止するチームが、生まれるのか？北日本広告社が来年の10連覇に王手をかけるのか？最大試合数二日で4試合という過酷な大会にご注目ください。



4月～5月の動き

■理事会

◎4月21日(木) 13時30分から ホテルオークラ札幌3階 チェルシーにて。
第1号議案＝PR広告二次(最終)審査。
出席の理事全員の投票により最優秀賞・優秀賞・佳作(二点)を決定　その後常務理事、各委員会、事務局からの所轄事項報告
◎5月26日(木) 13時30分から ホテルオークラ札幌3階 オークにて。
各委員会からの事業進捗状況の報告。

■法務セミナー

◎4月22日(金)
「広告表現トラブルの類型と注意点」と題して電通広告表現コンサルティング部渡部部長によるセミナーを開催し、141名のご参加を頂いた。

■JAAA全国連絡会議

◎4月28日(木)
広告業協会全国連絡会議に事務局長藤原が出席し、各地の広告業協会代表と情報交換。

■その他

◎6月2日(木)
北海道広告業協会杯野球大会主将会議
◎6月9日(木)
若手交歓会及びPR広告コンテスト表彰式

どうぞよろしく

株式会社　英広社
代表取締役
小林和仁

UHB北海道文化放送株式会社に37年勤務し、3月末日に無事定年退職を迎え、卒業しました小林です。

主に、営業系の部署を歩んできましたが、広告主各社、広告会社各社、北海道新聞社をはじめ道内電波メディア各社、フジテレビ系列各社、多くの方々と知り合い様々な仕事ができました。そして会社派遣で札幌青年会議所に入会させていただき、そこにおいても沢山のメンバーと知り合えた37年間でした。その機会を与えてくれた北海道文化放送株式会社には、深く感謝しております。

さて、ご縁がありまして株式会社英広社の冨田英敏前社長に声をかけていただき、5月1日より株式会社英広社の代表取締役に就任いたしました。サラリーマンから経営者になり、大きな責任を強く感じている所でございます。

これからは微力ではありますが、広告を通して地域の発展及び、活性化の一翼を担わせていただけるような仕事をしていきたい、と決意しているところであります。

また北海道広告業協会の活動にも積極的に参加させていただきたいと思っておりますので、皆様どうぞ宜しくお願い致します。

明日へのベクトル　連載67

ソフトパワーの時代になる。

マーケティングプランナー
臼井栄三

「パワー」と聞いて、あなたは何を思い浮かべるだろうか。パワーは力。それを生み出す筋骨隆々とした肉体や、ブルドーザーのような重機を連想する人もいるだろう。あるいは野球のパワーヒッターや剛速球投手を思い浮かべる人もいるかもしれない。

しかし、ここで書くのは文化の力のことだ。文化といえば音楽やアート、文学、映画など、パワーとは程遠いように感じられる。弱々しく、力とは対極のイメージだ。だが、いま文化力、つまりソフトパワーこそが世界の人々に強い影響を及ぼしている。

春に、米国で開かれたフィギュアスケートの世界選手権。最終日は女子フリーの演技だった。ロシアのメドベージェワが世界歴代最高得点で優勝。多くの報道陣からインタビューを受けていたときのことだ。

メドベージェワは日本のテレビ局の取材者に、逆に話しかけてきた。十六歳の彼女が発したのは流ちょうな日本語だった。「ごめんね　素直じゃなくて　夢の中なら…」

メドベージェワの日本語は、知る人ぞ知る『美少女戦士セーラームーン』の主題歌の一節であった。彼女は子どものときからセーラームーンの大ファンだったという。セーラームーンについて語るとき、彼女の表情は本当に楽しそうだった。

この世界選手権で、日本の女子はメダルに届かなかった。完敗である。だけど、僕はさわやかだった。文化の力、つまりソフトパワーでは、日本はすごい力を発揮したと感じられたからだ。

ソフトパワーは国境を越え、人々の中に価値観や嗜好として定着していく。長期的に見れば、草の根的に広がるソフトパワーのほうが軍隊以上にパワフルかもしれない。広告もソフトパワーだ。心豊かな社会を築くためにも、より上質なコンテンツが求められている。

平成28年度版　広告料金表発売中

今年も新しい広告料金表ができました。
広告人の必携ツールとして
毎日のお仕事にお役立てください。

頒布価格　正会員社 400円　一　般 500円

㈠社北海道広告業協会の事務局が移転しました。

電話番号やFAX番号、メールアドレスなどは一切変わりません。今までに増して街の中心部になりましたので、お気軽にお立ち寄りください。

新しい住所：〒060-8545 札幌市中央区大通西5丁目11-1
電通恒産ビル5階

予告　**平成28年 北広協カップゴルフ大会の日程が決まりました。**

●開催日：平成28年7月20日(水)
●コース：ツキサップゴルフクラブ

会員各社様へは、既にご案内をお送り致しました。
お返事をお忘れなく。